



麻布幼稚園だより 2月号

平成30年1月31日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

『来年度に向かって』

園長 大島 美知代

平成30年が始まってもう1か月が経ちました。3学期の幼稚園生活も残り少なくなってきました。特に年長組は幼稚園児として生活を惜しむかのように、いろいろな遊びや課題活動に取り組んでいます。

3学期は平成29年度のまとめの時期と同時に、「平成30年度」の計画を立案する時期です。皆様ご承知のように平成30年度は、「港区立麻布幼稚園の過渡期」～新しい園舎、新しい園庭が生まれ、変革の年となります。現在の定員85名の園児数も担任3名という人数も来年度で終わり、平成31年度にはぐっと大勢の人数が集い、活動する幼稚園に生まれ変わります。

今、教職員は大きくなる平成31年度を見通して、今ある環境（廊下や保育室）をより良くするために港区と連携して、園児たちが安全に過ごせるような環境を、保護者も集い、様々な活動を理解していただき、共に園児を育ててもらえる環境を目指し、考えています。

「あそこは3歳児が使うとしたら、使いにくいのかも知れないね、工事をしてもらったらどうかな?」「そうですね、みんなが使うと仮定して、整備していこうよ」「この環境は用務主事さんにも相談して滑らないようにしたいと思う。」「ここは3歳児が使うから個々の棚を低くしたいと思うけど…」等々、5人で考えを出し合っています。

物的環境はもちろん大事、そして人的環境も大切です。「来年度はこの行事のねらいをこう変え、教材も再度考えたいと思う」「子どもたちともっと校庭や地域の公園に出かける機会を多くして、たくさん歩いたり、自然に触れたりする活動を入れたい」と話し合っています。

保護者の皆様から今年度いただいた教育の評価も、学校評議員、教職員の自己評価も見つめ、参考にして、平成31年度新しい「港区立麻布幼稚園」の誕生を迎えられるよう、意識して平成30年度の教育課程、教育計画を立てていきたいと考えています。

2月には今年度最後の「学校評議員会」、学級懇談会も計画しています。来年度に対するご期待、ご要望、ご意見があったらぜひお話しください。皆様と「心を通わせ、子どもたちのために大人もがんばる、子どもたちを支える幼稚園」を作りたいです。

子どもたちは「こども会」に向けて毎日練習を積み重ねています。当日だけ来ても何にもなりません。練習の過程が子どもの学びです。最後の参観となる「こども会」、そして3月15日修了式、3月19日終業式まで子どもたちに残り少ない園生活を毎日させられるよう、健康に留意してお過ごしください。